

神戸市外国語大学 学術情報センターにおける 教育支援の取り組み ーゼミとの連携を中心にー

平成23年度兵庫県大学図書館協議会研究会
2012.2.16

公立大学法人 神戸市外国語大学
学術情報センター 飯島祐子



0. 発表の内容

1. 神戸市外国語大学の紹介
2. 図書館の紹介
3. 図書館における教育支援
「ゼミ対象図書館ガイダンス」
4. おわりに



1. 神戸市外国語大学の紹介



1-1. 大学の概要

- ・ 設 立：1946年
- ・ 所在地：神戸市西区(1986年移転)
- ・ 学生数：約2,300名(学部+大学院)
- ・ 教員数：約90名
- ・ 学部：外国語学部6学科
 - 専攻言語：英語・ロシア語・中国語・スペイン語
- ・ 大学院：修士7専攻 博士1専攻



2. 図書館の紹介



2-1. 図書館の概要

- 施設面積：3,300 m²（閲覧室2階・書庫3階）
- 蔵書数：
 - 図書：約41万冊
 - 雑誌：約5,000種
- 所属：学術情報センター
 - 学術情報班（図書館部門）
 - 情報メディア班（情報部門）



3. 図書館における教育支援



3-1. 活動状況

2002

- ・ 図書館主催講習会開催
 - 「OPAC検索」「資料の探し方」

2008
まで

- ・ ゼミ個別対応

2009
から

- ・ 「ゼミ対象図書館ガイダンス」開始
(全ゼミ対象)



3-2. ゼミ対象図書館ガイダンス

- ・ 対象：3・4年生（ゼミ単位・申込制）
- ・ 期間：通年（前期第1週から）
- ・ 時間：任意の授業1コマ
- ・ 会場：図書館内（閲覧室・書庫）
- ・ 担当：図書館職員5名（一人8～4コマ）
- ・ 実績：
 - 2009年度 29コマ
 - 2010年度 28コマ
 - 2011年度 30コマ



3-3. 実施までの流れ

告知

- ・ センター長による教授会アナウンス
- ・ 教員メールボックスへ案内を投函

前年度
3月初め

受付

- ・ カウンター・e-mail・電話で受付
- ・ メニュー・キーワード・データベースの確認

2週間前
まで

準備

- ・ ゼミの主題に合わせた教材を用意
 - － パスファインダー、キーワードシート、参考文献リスト



3-4. メニュー

全領域にゼミの主題を盛り込む

1. 書庫ツアー
2. 図書の見つけ方
3. 雑誌論文の見つけ方
4. 卒業論文の見つけ方
5. 外大にない資料の検索・入手方法
6. データベースの利用方法



3-5. 当日の流れ

ゼミ: 教員・学生(多いとき十数名、少ないとき若干名)

図書館: 主担当(進行・説明)・副担当(補佐・記録)

配布資料: パスファインダー・要点メモ・参考文献リスト・アンケート・利用案内

ロビー

- ・ 図書館利用とガイダンスの意義(教員)
- ・ ガイダンス概要説明(職員)

書庫

- ・ 図書館資料の全容を知る

閲覧室
書架

- ・ ゼミ関連の資料を知る

閲覧室
PC

- ・ 参考文献の見方
- ・ 文献検索実習(図書、雑誌論文、卒業論文、他大学の資料)



3-6. 心掛けていること(1) プレゼンテーション

わかり
やすい
説明

- ・ ポイントを絞る
- ・ なじみのある言葉を選ぶ
- ・ 実物を見せる

お得感

- ・ 普段は見られない場所
- ・ 学生が思いつかない探し方
- ・ 知られざる利用法

退屈
させない

- ・ 実際に手に取らせる・操作させる(参加型)
- ・ 問いかけながら進める(対話型)
- ・ 関心の高い事柄に結びつける



3-6. 心掛けていること(2) コミュニケーション

対教員

- ・ 図書館の支援姿勢を示す
 - ゼミの主題に焦点(進行と教材)
 - ガイダンス前中後のやりとり、日頃のやりとり

対学生

- ・ 親しみやすい雰囲気づくり
 - 「いつでも気軽に聞いて」のメッセージを伝える
 - 堅苦しいイメージを覆す

職員間

- ・ 学びあいと情報共有
 - 記録シート(副担当は必ずホメとダメ出し)
 - パスファインダー、キーワードシート、記録シートを蓄積



3-7. アンケートから見たこと(1) ガイダンスの評価

- ・ いずれも高い評価
 - ガイダンスの有用性
 - 図書館利用意欲
 - 説明のわかりやすさ

- ・ 他の人にすすめるのは
 - データベースの使い方
 - 雑誌論文の探し方
 - 卒業論文の探し方

- ・ 「ひとことコメント」より
 - とても楽しかった！
 - 書庫に入れてよかった！
 - 知らないことが多かった！



3-7. アンケートから見たこと(2) 学生の利用状況

- ・ 図書館利用頻度
 - 週1回以上
 - 月1回以上
 - ほぼ毎日

- ・ 館内で利用するものは
 - 資料は図書が多く雑誌は少ない
 - パソコンはDB用よりウェブ・メール用

- ・ 文献探索方法
 - 「直接書架を見る」と「OPAC」が圧倒的
 - DBの利用は少ない



3-8.ガイダンスの効果(1)

利用の変化

- ・ 認知度の低い部門が伸びた
 - データベースの利用増
 - 相互利用を使いこなすように
- ・ カウンターでの質問が増えた
 - 職員の顔と名前をおぼえて話しかけやすく
- ・ 新たな教育支援に発展
 - 熱心な教員とのさらなる連携
 - 学生からの提案も



3-8. ガイダンスの効果(2) 新たな取り組み

2009

- ・ オープンキャンパスイベント
 - 「図書館裏側探検」(書庫ツアー) ※継続中

2010

- ・ ゼミの夏休みの課題を提案
 - 「キーワードの調べ方と文献収集」 ※継続中

2011

- ・ 図書館内でビブリオバトル
 - ゼミと共催で・選書ツアーと合わせて(計2回)

2012

- ・ 初年次教育に参画予定



4. おわりに

- ・ 小さな組織でも
- ・ できることから
- ・ 「つなげる」



ありがとうございました。

